

校長室だより



令和5年10月5日

No.16

あら、もう10月ですか。「暑いですね〜」から少し抜け出す日も多くなってきています。日の出が遅くなり、夕方暗くなるのが早くなってきています。公園のどんぐりや落ち葉が増えてきました。あちこちに秋の景色が広がってきています。

コロナ禍で数年にわたって実施できなかった近隣校との学校間直接交流が先週、今週と行われています。小学部は本郷台小学校の5年生、中学部は本郷中学校の個別支援級との交流会が行われました。ここ数年はお互いの顔や学校の様子が見えるような動画や写真をやりとりしたり、作品をお互いに送りあったりするという形でつないできましたが、やっぱり直接、顔を合わせて触れ合って声を掛け合っているという直接交流はいいですね。自己紹介やゲーム、楽器演奏やダンスの披露などお互いの様子がよくわかって、すぐに仲良くなり笑顔がいっぱい見られます。手をつないでグループを作ったり、演奏に合わせていっしょに手拍子したり、確実にその場を共有できている様子が見え、うかがえました。感染症対策はまだまだ必要なところがありますが、直接交流のダイナミックなところは他に代えがたいと思います。今後も他の学校や学年との交流が続いて行われます。いい形で交流が行われ、友だちがどんどん増えていくといいですね。

さて、きょうは前期終業式。4月に始まった今年度ですが早いものでもう半分終わったということです。もっとも、校長は1か月間、病気でお休みしていたので、皆さんよりまた早く感じるのかもしれませんが…。とにかく、きょうで前期終了。6か月間の半分くらいの日が「暑い、暑い」だったようにも思います。暑すぎてプールに入れられないという異常な日も多かったですね。夏休みなどは連日の猛暑日。9月に入ってもそんな暑い日が続きましたが、熱中症などで大きく体調を崩す子がいなかったことは幸いでした。雨で2回延期となった運動会もなんとか実施できました。練習を含めて子どもたち一人ひとりの成長が随所に見えましたね。5月にはコロナが5類に移行ということで社会も学校生活もかなりの部分で制限的なものが変わってきました。でも、夏頃には実は感染者が結構多くなっていた地域もあったようです。さらに、季節外れのインフルエンザの流行もありました。ほんごうでも、ある朝、急に感染者が増えて…ということがありました。これからはますます油断ができない季節ですね。そんな、こんなの前期の日々、振り返ってみるといかがでしたか？子どもたちにしても、よかったことももう少しだったかなということもいろいろあったことと思います。でも、その両方を後期に持って行って、「今度は何をしようか」「次にどうすればいいのか」って考えて頑張ってみましょうということを終業式でみんなにお話しました。さあ、来週からの後期、楽しみですね。

保護者の皆様には前期の間、大変お世話になりました。後期もまた変わらぬご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

屋休みの遊具付近

